

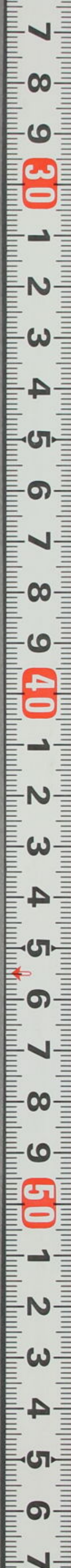


經典題說

全

132  
2757

學大田稻早  
館書圖  
庫文田內者托寄  
號一四一第書托寄  
號7第  
册//第





仁12  
院 2757  
卷

内田



經典題說

五經

詩書禮記易春秋是也樂經ヲ加ヘ  
テ六經トス一説ニ易書詩周禮禮記春  
秋ヲ六經トス又易書詩周禮儀禮礼記  
公羊傳穀梁傳左傳ヲ九經トス一説ニ易  
書詩周禮禮記左傳孝經論語孟子ヲ  
九經トス此上ニ儀禮公羊穀梁爾雅ヲ  
加ヘテ十三經トス



内田糸子氏



詩

經典



昔ハ三千篇アリレヲ孔子是ヲカシカヘシ  
ケキヲケツリ邪シヤヲタ、レウタフテ音律インリツ  
ニカナヒヨミテ人ノオシヘトナレルヲエラヒ  
サタメテ三百十一篇トス此内各義アリ  
テコト八十キモノ六篇アリレカレ凡大數ヲ  
アケテ三百篇ト号ス風雅頌ノ三ノレ十  
アリ風フウ八國風ナリ諸國ノ風俗フウソクヲウタフ  
其國國ノフリヲ云ナリ事物コトモノヲ感カンシテ人  
ノ心ウコクトキハ必オモフコトアリ思フト  
キハ必スコトバニアラハル其コトハノフレアリ

アヤアルハ則ウタヒモノナリタトヘハ風ノ  
モノニフレテウコクトキハ色イロアルカコトシ故  
ニ風トナツク

國風ハ周南召南邶鄘衛王鄭齊魏唐秦  
陳檜曹豳合テ十五國ナリ周南ハ文王  
ノ徳ニヨリテ周公ノオサメタル國ナリ召  
南ハ文王ノオシヘニヨリテ召公ノオサメタ  
ル國ナリ文王ノ政マツリゴト北方ヨリ南方ノ遠トウ  
キサカヒニテ廣ヒロクオヨフユヘニ周南召南  
トナツク



幽ハ文王ノ先祖天子トナラサルトキ治メ  
タモテル國ノ名也其先祖ノ功ト其國ノ  
風トヲ周公詩ニツクリテ世ノオレヘトシ政  
ノ法トスルヲ幽風ノ詩トナツク

王風ハ周ノミヤコノ風ノ詩ナリ周ノ世末ニ  
ナリテ王ノ徳ヲトロヘタレハ天子ノ雅ノ詩  
頌ノ詩ト同シカラスシテ諸侯ノ國ノ風ニ  
比ス故ニ王風ヲ列國ノウチニツラヌ此ノ  
王トハ周ノ平王ナリ父ノ幽王愚暗ニシ  
テ厄ヒスノタメニホロホサレテ後平王モ

トノコトク天下ヲタモツコトアタハス都ヲ  
東方ヘウツシテハナハタ襄微シケレハ文  
王武王周公ノサカリナリシ時代ヲ思ヒ  
出シテナケキカナシミテツクレル詩ナ  
リ其外ノ十一國ハ三十列國トテ周ノ世ノ  
諸侯ノ國ナリ

雅ハ正ナリ政ハニツカラタ、レウメ人ヲモ正ヲ  
云ナリ故ニ政ハ正ナリタ、レカラサルヲタ、レ  
フシテヨクタ、レキニイタルヲ政トス政ニ大ア  
リ小アリ小ナルニツリコトヲ云詩ヲハ小雅



トナツケ大ナル政ヲ云詩ヲ八大雅トナツク  
周ノ朝廷ノ卿大夫賢人君子此詩ヲツク  
リテ政ヲホムルコトアリソレルコトアリイ  
サムルコトアリオシユルコトアリナケクコト  
アリウレウルコトアリイマシムルコトアリ法  
トスルコトアリ  
頌ハ周頌魯頌商頌ナリ頌ハ容ナリ徳ハ  
心ニアリテ目ニ見ヘヌモノナリレカルヲ此徳  
ヲアラハスヤウニ詩ニツクリテイハヒマツ  
リテ神明ニマフス此ノユヘニ武王ノトキ文

王ノ庶ヲマツリ成主ノトキニハ文主武主ヲ  
マツリタルコトナレハ多ハ周公ノツクレル詩  
ナリ又後ノ世ノ王ノ先祖ヲマツルトキニ  
ウタヘル詩モアリ  
魯頌トハ魯國ノイハヒノ詩ナリ魯國ハ周  
公ノオサメタル國ナリ故ニ聖人ノ教後世  
ニテノコリタルコト他國ニコトナリ故ニ孔  
子ノ詩ヲアムトキニ魯國ノ頌ヲ四篇ト  
リテ周頌ノ下ニセタリ  
商頌ハ殷ノ世ノ詩ナリワツカニ五篇アル



ヲ魯頌ノツキニノセタリ古ハ殷ノ詩オホ  
レトイヘトモ年代久シケレハオホクウセ  
又或孔子ノケツリタ、サレタルモアルヘシ  
詩ニ六義アリ風賦比興雅頌コレナリ諸  
家ノ説ニ六義ヲ必六ニワカテルコトアリ  
トイヘトモ古來分明ナラス朱文公ノ説ニ  
ハ風八國風ナリ雅ハ小雅大雅ナリ頌ハ  
周頌魯頌商頌コレヲ三經トス賦比興ヲ  
三緯トス經ハタテナリ緯ハ又キナリタト  
ヘハケ<sup>絹</sup>ン<sup>布</sup>ヲアルニタテ又キアルカコトク詩

ニモタテ又キアリ賦ハレキノフル義ナリア  
リノマ、ニ云ヲ賦トス比ハタトフルナリタト  
ヘハ日月風雲草木鳥獸ヲ以テ人ニタダ  
ヘテ云ナリ興ハ目前ニ見タルモノヲイヒ  
オコレ四季ノ時節ヲ興シテ云出レ其次  
ニ我ヲモフ心ヲ云ナリ比ニ似テ少し不同  
ナリ此賦比興ハ風ニモ雅ニモ頌ニモヲノ  
ヲノソナハレリ或ハ風ナレ雅ナレ頌ナレテ  
首ノウキニ賦ニシテ比ナルモアリ興ニシテ  
賦ナルモアリ興ニシテ又比ナルモアリ是



朱文公ノ詩ノ説ナリ  
詩ヲ周詩ト号スルコトハ周ノ世ノ詩ナレ半  
リ詩經ト号スルコトハ經ハツ子ナリ聖人  
ノ書ハ天下古今ノアヒタツ子ニオコナフ  
ヘキ道ナルユヘニ詩經トナツク五經六經  
ノ經ノ字義モ是ナリ又毛詩ト号スルコ  
トハ前漢ノ博士毛萇此詩ヲ傳ヘテ傳ヲ  
ツクレリ故ニ毛詩ト稱ス後漢ノ鄭玄コ  
レヲウケエテ注釋ヲ加フルヲ鄭氏箋ト  
云ナリ又魯人申公カ傳ヘタル詩ヲ魯

詩ト号ス齊人轅固生カ傳ヘタルヲ齊詩  
ト号ス燕人韓嬰カ傳タル詩ヲ韓詩ト号  
ス此ノ三家ハ皆前漢ノ人ニテ家家ノ十  
カレアリトイヘトモ後ノ世ニアマ子クヒロミ  
ラス毛萇カ説獨傳ハリテ今ノ世マテ  
流布セリ三家ノ説ワツカニノコリテ諸  
書ノウチニアルモ毛萇カ説ト本經文字  
題説少シ不同アリトイヘ凡大体ハ三十  
同ナシ  
詩三百餘篇アリトイヘトモ思無邪ノ一言

世報

六

思無邪ノ一言



ヲ簡要トス思無邪モ詩ノ魯頌ノ語ナリ  
ヨコレマナカラシコトヲモヘト云説アレトモ  
オモヒヨコレマナレトヨムヲヨレトス善キコ  
トヲ見キ、テ詩ヲツクリホムレハツクルモ  
ノモ善心ヲオコレ其詩ヲ聞モノモ善心  
感ス惡キコトヲ見キ、テ詩ヲツクリソ  
レリ誠ムレハ作ルモノモ惡心ヲヤメ其詩  
ヲ聞モノモ惡心ヲオソル其上ニフカクカ  
スカニレテ人モレラス詞ニモノヘカタキト  
コロヲ物ニタトヘ興レテイヘハ教トナリテ云

モノモ罪ナク聞モノハイマシメトスハタシ  
テ心ノタ、レキトコロニ皈スルナリ是ヲ思  
無邪ト云コ、ヲモツテ君ニ事ヘテハ忠ア  
リ父ニ事ヘテハ孝アリ其外夫婦ノアヒ  
タ男女ノヤハラキ兄弟ノアヒタ老若ノ  
礼義朋友ノ交リ師弟ノ法惣レテ人倫  
ノ教詩ニスキタルモノナレ此ノ理ヲモツテ  
詩ヲウタフトキハ天地ノ心モ感動シ神  
明モ納受スヘシモトヨリ心ノウチニアリテ  
身ヲハナレサルコトナリ



書

書ハフミナリレルスナリカクナリ虞夏商  
周四代ノ政ヲシレルセルユヘニ書トナツクワ  
ケテイヘハ虞舜ノ時ノ書ヲハ虞書トナ  
ツケ夏ノ世ノヲハ夏書トナツケ商ノ世  
ノヲハ商書トナツク殷ト通用ス世  
ノ名ナリ周ノ世ノヲハ周書ト名ツク孔  
子ノ書ヲケツリサタムルトキ百篇アリ  
秦ノ始皇カ書ヲヤキホホストキ孔子  
ノ子孫其外ノ儒者博士コレヲ深山ニカ

クシ或ハ壁中ニカクス秦ノ世程十クホロ  
ヒテノ千漢ノ世ニヲヨニテ書ヲタツスルト  
キニ壁ノ中石ノ箱ノナカヨリトリ出セリ  
竹ヲアミテ古文ヲモツテカキタレハ知ル  
人ミレナリ其ヨミシリタルトコロアツメテ虞  
書五篇夏書四篇商書十七篇周書三  
十二篇合テ五十八篇ヲエタリ前漢ノ孔  
安國是ヲ傳ヘテ傳ヲツクル上ノ古ノ書九  
ユヘニ尚書ト名ツク尚ハ上也又秦ノ時ノ  
博士伏生ト云モノ漢ノ世マテアリシカ年

通典

八



九十ニアマレリ尚書ヲソラシテクチツ  
カラオレヘケルヲ彼壁中ヨリホリ出タ  
セル書トカニカヘ合セテ次第ヲ定メタリ  
書ノ第一堯典ハ唐堯ノ徳ト政トヲシルセリ  
虞舜ノ世ノ史官ノ筆ナレハ唐書トイハス  
シテ虞書ト云ナリ第二舜典ハ虞舜ノ徳  
ト政トヲシルセリ典ハツ子ナリ堯舜ハ大  
聖人ニテ天下ノアルレナリ其言行三十後  
ノ世ノツ子ノ法ナレハ堯典舜典ト名ツク  
夏書第一ニ禹貢アリ夏ノ禹王水ヲ治

メ山ヲサタメ河ヲワカチ天下ヲ九州トス一州  
ニ山川ノ三チスチヲワカチ土産ノレ十  
ヲサタメ田ノ上中下ヲワカチ土地ノ差別  
草木ノレナニ至マテ書キシルシ澤ト江河  
トヲタ、レフシテ海ヘイタラシメ王王千里四  
方ノ外ノ諸侯大小國ヲオサメ其外遠キ  
四方ノカキリヨリ夷狄ニテノ政ヲホトシ  
其三ツキモノ、レナヲサタム是ヲ禹貢トス  
商書第一湯誓ナリ夏桀無道ニテ天下  
大ニクルシニケレハ殷ノ湯王義兵ヲオユレ



祭ヲウタントテ諸侯ヲアツメテ誓テ祭カ  
天命ニタカヘル罪ヲ云ノヘタリ  
太申ハ殷ノ湯主ノ孫ナリ湯王崩シテ大甲  
ハ十ハタ不義ナリケレハ湯王ノ大臣伊尹是  
ヲ教訓セシタメニ太甲ヲシリソケ桐宮ニオ  
キテ諫ム伊尹政ヲオコナフ太甲三年ヲヘ  
テ伊尹カオシヘニシタカヒケレハ桐宮ヨリ外  
ヘテ立テ天子トス桐宮ハ湯王ノ廟ノアル  
トコロナリ此ノユトヲシルセルヲ大甲ノ篇トナ  
ツク

周書第一秦誓ハ周ノ武王殷ノ紂ヲウタニト  
テ孟津ト云トコロヘイタルトキ諸侯コトクク  
アツマリシタカフ殷ノ紂カ悪逆無道ニテ  
天下ヲナヤハスウタテカナハサル道理ヲ  
イヒテ諸侯ニキカレムルヲ秦誓ノ篇トス  
洪範ハ夏禹ヨリ傳ヘ來リテ箕子コレヲ  
シルセル武王此道ヲ問トキ箕子コレヲカ  
ツク洪範ハオホヒナルノリナリ此篇ニ水  
火木金土ノ五行ノ理ヲアカシ天地陰陽  
ヲ人ノ身ニソナヘタルコトヲイヘリ又貌ト言

經典

九



ト視ト聽ト思トノ五ノコトヲシルレテ身ヲ  
ヲサムル法トス又食ト<sup>シヨク</sup>質ト<sup>カク</sup>祀ト<sup>シ</sup>司空ト<sup>シヨク</sup>司  
徒ト<sup>ト</sup>司寇ト<sup>カク</sup>質ト<sup>シ</sup>師ト<sup>シ</sup>ノ八政ヲシルセリ天下  
ヲタモツモノ此ノ八政ヲシルヘシ國ヲオサメ  
天下ヲタモツハ民ヲヤシナフヲサキトス故  
ニ食トモシカラサルヤウニ民ヲス、メテ農  
業ヲツトメシム次ニ財寶<sup>サイホウ</sup>ナクテハカナハサ  
ルコトナリ故ニ民ト利ヲアラソハスレテヲ  
ノツカラ財寶<sup>サイ</sup>足ヤウニセントナラハヨリ  
ヲヤメ用ヲセツスヘシ次ニ先祖ノ恩ヲウスル

ルハ不孝ナリ故ニ祀ヲツ、シムヘシ次ニ土地  
ノアル、ハ民スクナキユヘナリ土地<sup>チ</sup>ナシカ  
ラサレハ衣食<sup>イシヨク</sup>トモシカラス財寶<sup>サイ</sup>モユリ出  
ツ此奉行<sup>キヨウ</sup>ヲオクヲ司空トス次ニ人倫<sup>ジンリン</sup>ノ教  
ナケレハ禽獸<sup>ニウ</sup>ニチカシステニ衣食<sup>イシヨク</sup>タレハ民  
ヲヤシナフ其上ニ君臣ノ義理父子ノ恩  
愛男女ノ差別<sup>サバ</sup>兄弟ノ次第朋友ノ交リ  
偽リナキヤウニオシユル奉行<sup>キヨウ</sup>ヲ司徒トス  
次ニ訟<sup>ウツタ</sup>ハ必アルコトナリ訟<sup>ウツタ</sup>ヲキ、テ是非<sup>シヒ</sup>ヲ  
ワカチ非ナルモノヲハ法ニアテ盜セルモノ



信ナキモノヲハ罪スヘシ其ワタクシナキ奉  
行ヲ司寇トス次ニ諸侯ト諸侯トノ參會  
ハタカヒニ賓客トナリ主人トナルアマタ  
諸侯王土ニ來ルトキハモノタメ客人ナリ  
此ノ時宜アヒサツアルコトナリ是ヲ賓ト  
ス次ニヤスケレ左アヤウカラシムトワスレ  
治マレトモ亂レシムトワスレ故ニツ子ニ軍  
旅ノツナヘアルトキハ俄ノ時ニイタリテ驚  
コトナシ是ヲ帥トス右ノ八政ハ大ヒナル政  
ノ善キモノナリ

金滕大誥康誥以下ノ十餘篇ハ皆周公且  
攝政ノ時ノ政ヲシルモノナリ  
書經ニノスルトコロノ堯舜禹湯文王武王周  
公ハ三千聖人ナリ臯陶益稷ハ堯舜ノ賢  
臣ナリ伊尹傳說ハ殷ノ世ノ大賢ナリ夏  
桀殷紂ハ惡人ナリ堯舜禹湯文武ノコト  
クナレハ天下オサマリ桀紂カコトクナレハ其  
身凶ヒテ天下ヲウシナフ臯陶益稷伊尹  
周公ノコトクナレハ君臣合躰シテ其身サカ  
ヘ國ヲサマル加様ノアトラ見テ教トスヘシ



誠トスヘシ然レトモ聖人ノ心イタリテ深ク  
至リテ大ナレハ同時ノモノモシリカタシ千  
年ノ後ニ出テイカテカコレヲ見ニヤサリ  
ナカラ聖人ノ心ハ言ニアラハル其言ラレル  
セルモノハ書ナリ中トイヒ徳ト云ヒ仁ト云  
ヒ誠ト云ヒ敬ト云フハ皆心ノ妙ニシテ書ニ  
見ヘタリ天地ノ心見カタレトイヘトモ萬物  
ノ形ヲ見テ知ルコトク書ヲモツテ其言ハラ  
見言ハラ以テ其心ヲ察セハ如何ソ聖人ノ  
心ヲ知ラサランヤ是書ヲ讀モノ、法ナリ

獨尚書ノミニカキラス四書五經ヲヨムモ三  
ナ此ノ理ナリ

禮記

四十九篇アリ大學中庸モ元來其少  
チナリ古ノ礼法ラレルセリコレモ孔子ノ  
アツメル書ナリ秦ノ始皇カ時ニ儒者是ヲ  
カクシテ後亂脱ス前漢ノ戴徳カ傳ヘタ  
ルヲ八大戴礼ト名ツク戴聖カ傳ヘタルヲ  
小戴礼ト名ツク小戴礼ハスナハ千禮記  
ナリ後漢ノ鄭玄コレヲ註シテ世ニオコソフ



曲禮上下篇内則少儀此四篇ハ大体小  
學ノコトヲシルセリモノ、イ、ヤウモノ、クイ  
ヤウ器物ノ取ワタシ衣服ノキヤウ飲食  
ノソナヘヤウ入ノ子トナリ人ノヨメタルモノ  
ノ行跡老人ヲ養ナヘル法ナトニイタルマテ  
シルレノセタリ  
月令ハ春夏秋冬ノ次第七十二侯等ヲ  
アラハス年中行事ニ似タリ  
樂記ハ音樂ノ道理ヲシルセリ  
冠義ハ元服ノコトヲシルレ昏義ハ嫁娶ノ

理ヲシルレ郷飲酒義燕義ハ飲酒ノ礼ノ理ヲ  
シルレ射義ハ弓矢ノ理ヲシルレ聘義ハ天子  
諸侯ノ間使者往來ノ義ヲシルス其餘ハ多  
ク喪葬ノ義祭祀ノ法ヲシルス  
王制ハ天子ノ政ヲシルス深衣ハ儒服ノ制  
法ヲシルレ儒者ノ行跡ヲシルセリ  
其餘ハ本文ニ見ヘタリ  
經禮三百曲禮三千ト云コトアリ經礼ハ元  
服聾トリ婦トリ喪葬ノ次第祭祀ノ儀  
式軍旅ノ法主人賓客ノ時宜乃至六キナ



ル祝義等ノ類カソヘアケハ三百アルヘシ曲  
禮ハ委曲ノ禮ナリコニカニスコレキナルコト  
ヲ云ナリ立居フルニイ掃除給事配膳衣  
服飲食問フツ各ヘツ物語スルノ類マテツ  
ニヒラカニカソヘハ三千ニイタルヘシ其レナシ  
ナノ多キコトヲイハシタヌニ三百三千トイヘ  
リ中庸ニ禮儀三百威儀三千トアルモ是  
ナリ其位ヲイヘハ天子ノ礼アリ后妃ノ  
礼アリ太子ノ礼アリ諸侯ノ礼アリ世  
子ノ礼アリ夫人ノ礼アリ卿大夫ノ礼ア

リ士庶人ノ礼アリ貴賤ニヨリテ礼ニ不  
同アリ又人倫ニヨリテイハ君臣ノ礼ア  
リ父子ノ礼アリ夫婦ノ礼アリ舅姑ノ  
礼アリ長幼ノ礼アリ朋友ノ礼アリ師弟  
ノ礼アリ不可勝計此礼ハ萬事ニアリ  
トイヘ正心ヨリイハ次第三タレサルハ礼ナ  
リツレニアルハ礼ナリ人ノ心具セル天理ヲ  
レナクニシテ事物ノ法トスルモノナリ天ハ  
ヲノツカラ上ニアリ地ハヲノツカラ下ニア  
リ已ニ上下位ガタマルトキハ上ハタツトク下

礼記 卷之五 曲禮 第五



ハイヤレ自然ノ理ノ序アルトコロハ此上下ヲ  
見テレルヘシ入ノ心モ又カクノコトシ上下タカ  
ハス貴賤ニタレサルトキハ人倫タレ人倫タレ  
レケレハ國家ヲサマル國家ヲサマルトキハ王  
道成就スコレ礼ノサカシナルモノ也

周禮

是ハ周公旦撰政六年ノ間ニツクレル書ナ  
リ天地春夏秋冬ニカタトリテ官ヲタテ  
タリ故ニ六典ト号ス

天官冢宰ハ天子ヲタスケテ百官ヲスヘ

モロクノ政ヲトリオコナフ天ノアハ子ク物ヲ  
オホフコトク冢宰千ヨ諸事ヲ管領ス故ニ天ニ  
カタトル冢宰ハ大ナリ宰ハツカサナリ冢宰  
ノ下ニアマタノ被官アリ 日本ノ太政  
官中務省ノ相當ニ似タリ

地官大司徒ハ万民ヲオシヘ百姓ヲシタレ  
三田地ヲカンカヘ耕作ヲス、メ年貢ヲオサ  
メ國家ヲニキハスコトラツカサトルコノ下ニモ  
アマタノ被官アリ 日本ノ民部省ノ相  
當ニ似タリ民ノ政ヲツカサトル故ニ地ニカ



タトリテタテタリ

春官宗伯ハ天神地祇ヲツカサトリ祭祀

ヲツカサトリヨロツノ礼義ノコトヲ管領ス

此下ニモ被官ア一タオホシ日本ノ神祇

官ト治部省トノ相當ニ似タリ春ニカタト

リテタテタリ

夏官大司馬ハ天下兵馬ノコトヲツカサトル

允ノ軍旅ノコトヲトククシラスト云コトナレ此

下ニモ被官モツトモオホシ日本ノ兵部

省諸衛羽林鎮守府將軍征夷將軍等

ニ相似タリ兵馬道ハ馬ヲ大ナリトス馬ハ陽

ノ獸ナル故ニ夏ニカタトリテタテタリ

秋官大司寇ハ訴訟ヲ聞キ公事ヲ裁断

シ盜賊ヲ誡メ獄囚ヲツカサトル此ノ被官モ

又多シ日本ノ刑部省彈正臺檢非違使

廳ニ似タリ秋ハ肅殺ノ氣アル故ニ秋ニカタ

トリテタテタリ

冬官大司空ハ天下ノ土地ト人民トヲハカ

リクラヘテイタツラナル空地ナキヤウニ

スルコトヲツカサトル此ノ被官モ又オホシ



日本ノ大蔵省宮内省ニ相似タルカ冬ノ農  
ノヒトアル時ナル故ニ土地ムナレカラサルヤ  
ウニト冬ニカタトリテタテタリ

鄭玄カ注本ニ冬ノ官司司空ノ篇本ヨリカケ  
タリ前漢ノ世ニ是ヲモトムレトモ得コトアタ  
ハス故ニ考工記ヲ以テ闕タルヲ補フ考工  
記ハ鍛冶番匠車造鑄物師玉磨皮細工  
ヲ作り等ノアラユル諸職人ノコトヲ記セ  
ルモノナリ後ノ世ニオヨシテ冬ノ官ハ混雜シ  
テ五官ノ中ニアリトテ冬ノ官ニ相カサヘル

語ヲヒロイ出シ取アツメテ司空ノ篇トス  
是大明ノ柯尚遷カ周礼全經ノ説ナリ  
其レ君トシテ人ノ才智ヲハカリ官ヲサツ  
ケ位ニホセテユレヲ用ヒハ官位ト人トヨク  
相應シテ政務トコホルコトアルヘカラス  
トヘハ天道モノ言ハ子トモ四季オユテハレテ  
萬物生スルコトハ陰陽五行ノ運行スル故  
ナリ君ハ天ナリ臣ハ陰陽五行ナリ天ニ  
ツトリテ徳ヲツクシミヲコタルコトナケレハ官  
位アル臣下皆君ノ心ヲクニハカリテ油断



十キコト陰陽五行ノ天ニツイテ万物ヲナ  
スカコトシ天遠キニアラス心ノ中ニアリ古ノ  
賢君ノ無為ニレテ治マルト云ハ此理ナリ

儀禮

十七篇アリ是モ周公旦攝政ノ時ニエラ

ヘル書ナリ

第一士冠禮ハ男子年二十ニシテ元服ス  
ル儀式ヲシルセリ士ハ男子ノ通稱ニテ初  
テミヤツカヘシ文官ニモ武官ニモノホルヘキ  
モノヲ云ナリ

第二士昏禮ハ士ノ嫁娶ノ儀式ヲシルセリ

礼ハ三ナ貴賤ノレナアリ故ニ士ノ礼ヨリモ  
加マシテタツトクスレハ大夫ノ礼トナル大夫  
ヨリモ貴クスレハ卿ノ礼トナル又諸侯ノ礼  
トナル諸侯ヨリモイヨクス、シテタカク加  
フレハ天子ノ礼トナル士ノ礼ヲ以テレ、余  
スレハ天子諸侯ノ元服モ嫁娶モ其類ヲ  
モツテナソラヘ知ルナリ

第三士相見礼ハ士ト士ト初テ相着スル  
儀式ヲシルセリ行クモノハ賓客トナリムカ



フモノハ主人トナル凡人ト相アフテ交ルニ  
ハミタリニスヘカラス必ス礼義ヲモリテ  
對面スルコトナリ非禮非義ノ交ハ君子ヨ  
シトセス

第四郷飲酒礼ハ諸侯ノ大夫三年ニ一度  
ツ、賢人才能アルモノヲエラヒアケテ君ニ  
ス、ム此時礼義ヲ以テムカヘ賓客トシテ酒  
ヲノム其義式言語進退ニイタルマテヨロ  
シカラスト云コトナシ酒宴ノ間ニ音楽ヲ奏  
シ詩ヲウタヒテ主人ト賓客トノヤハラケル

トコロヲアラハス献酬酢云コトアリ賓客ハ  
先サカツキヲス、ムルヲ献トス其盃ヲ主人  
ヘサスヲ酬トス主人コレヲ飲テ盃ヲアラヒ  
又賓客ニス、ムルヲ酢トス其間ニ賓客ノ  
子弟主人ノ子弟三十座ニアリテ夕チフ  
ルマノ時宜アリ

第五郷射礼ハ春ト秋ト禮義ヲ以テスラ  
アツメテ學校ニテヲヲ射ヲ云ナリ大夫  
是ヲオコナフコレモ主人ト賓客トヲ立テ  
庭ニアツチヲツキマツ對面ノ始獻盃ノ礼

禮記

射義



アリ次ニ音楽アリ詩ヲウタフ次ニ弓ヲ射ル奉行ヲタテ賓客ニムカツテ弓イヨト云主人ノ方ノ弓射ルモノ出テ賓客ト相ナラヒ番ノアイテトナル其間ニ種種ノ儀式アルコトナリ多クアタルトアタラサルトヲ以テ勝負ヲ定ム射ルコトオハリテ又音楽ヲ奏ス樂オハリテ又ス、ンテ射ル射ルコトヲハリテ又獻盃ノ次第アリ天子ノ的ハ熊ノ皮ヲハリテ地ヲ白クス諸侯ノ的ハ鹿ノ皮ヲハリテ地ヲ赤クス大夫ノ的ハ布ヲハリテ

虎豹ヲエカク士ノ的ハ布ヲハリテ鹿豕ヲエカク教色ハ三十赤シ

第六燕礼ハ諸侯政務ノヒマアル時卿大夫ノ奉公ニ勲功アルモノ群臣ト酒ヲ飲テヨロコヒタノシム儀式ナリ是モ主人ト賓客トヲ定メテ座敷ノ次第盃ノス、メヤウウ色色ノアヒサツアリ飲酒ノ時音楽ヲ奏シ詩ヲウタウ君モ諸侯モ出テ其座ニアリ日巳ニクルレハ燭ヲトホシ門外ニ簾ヲタク第七大射ハ諸侯祭礼ヲオコトハントス時



群臣ヲアツメテ弓ヲ射サシメテ其礼儀  
ヲ見ル善ク射アツルモノハ祭礼ニアツカリ  
アツルコトアタハサルモノハ祭礼ニアツカル  
コトナシ的ノツクリヤウ的<sub>下</sub>場ノ躰<sub>下</sub>貴賤ノ  
位ニヨリテ不同アリモロクノ樂器<sub>カクキ</sub>ヲ堂ノ  
東西南北ニナラヘオキ又飲食ノ器ヲナラ  
ヘオク君出テ座ニツク時音樂ヲ奏ス是モ  
賓客ト主人トヲワカチ定メテ賓客ヘ主  
人ヨリ飲食ヲス、ム其間音樂ヲ奏シ詩  
ヲウタフ其後弓射ルモノ相ナラシテス、

ニテ的<sub>下</sub>ニムカフサマクノ次第アリ射有  
ハリテ又献盃<sub>ケンハイ</sub>アリ又音樂ヲ奏ス夜ニ入ト  
キハ燭<sub>シヨク</sub>ヲ堂上ニトホシ庭上ニモ門外ニモ簾<sub>カサ</sub>  
ヲタクナリ  
第八聘禮<sub>イ</sub>ハ諸侯ノ使者隣國ヘユク時ノ  
儀式ヲシルセリ毎年一度ツクタカヒニ使  
者<sub>ツク</sub>往來スルコトモアリ年ヲヘタテ、往來  
スルコトモアリ國遠ケレハ一代ニ一度往來  
スルコトモアリ諸侯ノニツカラ往來スルコ  
トモアリ卿大夫使者トナルコトモアリ人



ラエラヒテ使者トス次ニ上カクヲエラフ上  
カハソへ使ナリ次ニ衆カクヲエラフ衆カ  
ハ使者ニシタカフ役人ナリ音信モノ、目  
録ヲウケテ其數ヲアハス已ニ國ノ堺ヘ  
イタルトキハ隣國ノ主ヨリコレヲ子キラ  
路次ノ用意ヲト、ノヘテ飲食ノモノ米薪  
藁草ニイタルマテ車ニツミテ送ル使者  
ヲ三チヒクタ役人アリ使者來リテ入ルト  
キニ君對面スル儀式アリ音信物ヲサ  
サクル次第ト奏者披露ノ体トサマク

ノシナアリ其後使者ヲモテナス儀式モ  
アリ使者オノレカ國ニカヘリテ君へ返事  
申ス法アリ  
第九公食大夫礼ハ君ヨリ大夫ヲ召シテ  
飲食ヲタマフ儀式ヲシルセリ  
第十覲禮ハ諸侯ノ秋天子ニ、ニユル礼ヲ  
ヲシルセリ春、ニユルヲ朝ト云夏、ニユル  
ヲ宗ト云秋、ニユルヲ覲ト云冬、ニユル  
ヲ遇ト云天子ノ禮儀ナレハ結構ノ次第  
アリ

經典  
卷之七



第十一喪服ハ喪ノ礼ヲシルセリ父母ノ  
喪君ノ喪祖父母ノ喪兄弟ノ喪兄弟ノ  
子ノ喪孫ノ喪養父母ノ喪姑姉妹ノ喪  
伯叔父ノ喪從父昆弟ノ喪等ノ一族ノ  
服ノ次第ヲシルセリ此篇ニハ孔子ノ弟  
子子夏傳ヲ作レリ

第十二士喪礼ハ士タルモノ其父母死シテ  
ヨリカリモカリスルテテノ礼儀ヲシル  
セリ

第十三既夕ハ士喪礼ノ下篇ナリ父母  
葬ラサル先二日夕部ニ哭スル時ト葬ルト  
ノ間ノ次第ヲシルセリ

第十四士虞礼ハ士巳ニ其父母ヲ葬テ  
魂ヲムカヘ飯テ日中ニ殯宮ニ祭リテ父母  
ノ魂ヲヤスニスル礼儀ヲシルセリ後ノ世  
ノ神主ヲツクル此義ナリ神主ハ位牌ノ  
コトナリ

第十五特牲饋食礼ハ士其祖禰ヲ祭ル  
礼ナリ祖ハオホチナリ禰ハオヤナリ特  
牲ハ一匹ノ豕ナリ祭ノニエトス



第十六少牢饋食礼ハ諸侯ノ卿大夫  
其祖禰ヲ廟ニ祭ル礼ナリ少牢ハ羊豕  
ヲソチユルヲ云ナリ祭ノニエトス  
第十七有司徹ハ少牢饋食礼ノ下篇ナ  
リ大夫已ニ祖禰ヲ祭リテ其神ヲ堂ニ  
三千ヒキ或ハ室中ニ拜スルノ儀式ヲシル  
セリ  
儀礼周礼礼記ヲ三礼ト号ス皆後漢ノ  
鄭玄カ註ナリ宋ノ朱文公ユレヲ考テ  
儀禮經傳ヲ集メ編ム元ノ吳澄三禮考

註ヲ作ル明朝ノ柯尚遷三礼ヲ校合テ  
儀禮全經周禮全經曲禮全經ト定テ註  
ヲ作テ世ニ行フ  
礼ノ盛ニ大ナルコトハ三百條ニ至リ詳ニ委  
キコトハ三千條ニ至レリ其根本ヲ云ト  
キハ一心ノ敬ヨリ出テ自然ノ天理ヲソ  
レクニ宜クシテ分チタルモノナリ故ニ毋  
不敬ノ三字ヲ礼ノ根元トス朱子コレヲ  
天理ノ節文人事ノ儀則ナリト云ハ本ヨ  
リ理ハ一ナレトモ様様ノ節アリテ人ノ行



フ所皆法ニカナフトキハ又一理ニ取スル也  
儀礼ノ士冠礼士婚禮ニテ類ヲ推シノホ  
ストキハ卿大夫諸侯天子ノ貴キニ至ル  
マテナソラヘ知ルヘキノ三ニアラス其外ノ  
諸篇モ亦如此ト知ルヘシ

樂經

黃帝堯舜禹湯文王武王ニ至ルマテ代々  
ノ樂ヲ記シ宮商角徵羽ノ五音ヲ六律  
六呂ニ合セ是ヲハヤシタツルニ金石絲竹匏  
土革木ノ八ノ音ヲ以テス此樂能相調

フトキハ鬼神モ感應レ鳥獸モ來リ舞  
況於人倫乎故ニ風ヲ移レ俗ヲ易ルハ樂  
ヨリ善ハナシトイヘリ此樂モ人ノ心ノ和  
ヲ本トス故ニ礼ト相對メ禮樂ト稱ス樂經  
モ孔子ノ正シタマヘル書ナリ秦始皇カ時  
ニ紛失メ周禮禮記左傳等ノ諸書ノ中  
ニ散在メ見タリ史記漢書以來ノ歷代  
ノ禮樂志ハ皆後世ノ樂ヲ記セルモノナリ

周易

正義ニ易ノ字ニ三ノ說アリ一ニ易簡ノ



義ナリ是ハ煩カラス事レケカラス元來  
無造作ナル所ヲ云天地ノ道ハ自然ノ理ニ  
シテ安ラカニ何ノ造作モナシ是易簡ノ  
義ナリ一ニハ變易ノ義也アラタマリカ分  
ヲ云寒來暑往年月日時ノ移リ換リ  
陰陽五行ノ變化スルヲ云一ニハ不易ノ義  
也天地ノ道常在ニメ古今同キ理ヲ云故  
ニ易ノ一字此三義ヲ含リ此理ヲ教ル書  
ナレハ易ト名ク  
朱子本義ニハ易ノ辭ハ周文王ト周公トノ

トハナルユヘニ周易ト名ク卦ヲ作ルコトハ古  
ノ伏羲ノ作ナレトモ其詞ナシ一ヲ陽トシ  
一ヲ陰トス 乾 坤ノ類是ナリ孔子  
又文王周公ノ詞ヲ序テ、傳ヲ作レルヲ  
十翼ト名ク故ニ易ハ四聖人ノ述作ナリ  
交易變易ノ義アルユヘニ易ト名ク天ハ上  
地ハ下ナレトモ天氣降り地氣騰ル水ハ  
火ニ對シ山ハ澤ニ對シ陰ト陽トノ相交  
ノ類是交易ナリ春秋ノオシ移リ寒  
暑ノ相替リ一氣ヨリ物ヲ生シ生スル物



又滅ス吉凶禍福進退去就ノ類ニ至ルニ  
テ皆變易也此書天地陰陽ヲ明シ人  
事ノ吉凶ヲ示シ萬物ノ理ト象ト數トヲ  
明セリ故ニ易ト名ク正義ノ三說ノ義ニ  
アラス但變易ノ義ハ不同十キニヤ  
昔伏犧ノ時河水ヨリ龍馬出ツ其背  
ニ河圖ノ紋アリコレニカタトリテ始テ八  
卦ヲ作レリ天地陰陽萬物ノ象數盡  
ク備ラスト云コトナシ八卦ヲ疊三重子テ  
八八六十四卦トス每卦ニ六爻アリ六ヲ

六十四ニ乘メ三百八十四爻トス能通スルト  
キハ萬事ニ通クカナフ也  
伏犧一畫以前ハ天地ノ始ナリ人ノ心ノ上  
ニテノイハ寂然不動也喜怒哀樂未發ノ  
中也一畫以後八卦トナリ六十四卦トナ  
リ三百八十四爻トナリハ天地開ケ陰陽  
分レ万物生スル所也人ノ心上ニテノイハ  
感メ天下ノ事ニ通スル也喜怒哀樂發メ  
和トナリ十リ故ニ心ノ妙ヲ名テ易トス程  
子ノ變易メ道ニ從フトイヘルハ是也天地ノ

易經  
卷八



間明白ナル物日月ニ過タル八十ニ古人始テ  
字ヲ作ルトキニ此理ヲ知テ日ノ下ニ月ヲ  
加ヘテ易ノ字トセリ  
昔ハ龜ヲ燒テ其甲ノサケメラ見テ吉凶ヲ  
占フ是ヲ龜卜ト云又著ヲ五十本作リ  
一本ヲ除キ四十九本ヲ指ノマタニハサ三  
テカソフル次第アリ其類ヲ以テ卦ヲ作  
リ是ヲ周易ニ考テ其詞ヲ見テ吉凶禍  
福ヲ占フ是ヲ筮占ト云龜卜ハ後世ニル  
モノ稀ナリ人事ニオヒテ自ラ決定シカ

タキ幾アルトキハ天命ニ任テ定ニタメニ  
著ヲ立テ占フ故ニ朱子モ易ハト筮ノ書  
也トイヘリ  
一三五七九ハ天ノ數也二四六八十八地ノ  
數也天ノ數二十五地ノ數三十天地ノ數  
合テ五十五也五ハ中數ニテ是ヲ除キ五  
十ヲ大衍ノ數トス是著ノ數也是ヲ八  
ヒロムレハ百千万ニ及フヘシ  
本卦ヲトルコトハ本經ニモ玉弼力註ニモ正  
義ニモ程子ノ傳ニモ朱子ノ本義ニモ不見



之但火珠林納甲等ノ末書ニアルコトニモ賢  
人君子名儒ノトラサル所ナリ命期ノ筭  
年並モ亦同

春秋

魯國ノ史記ノ名ナリノ事ヲシルスニハ其年  
ノ其月ノ其日何事アリト書クコトナリ  
日ノウヘニ月ヲシルレ月ノ上ニ時ヲシルス時  
トハ春夏秋冬ヲ云ナリ春正月夏四月  
秋七月冬十月ト書ク類ナリ自餘ノ月  
モ又レカリ時ノ上ニ年ヲシルス是史官ノ

筆ヲトリテ年ヲ編法ナリ春ヲ云テ夏  
ヲカ子秋ヲ去テ冬ヲカ子タリ故ニ史記  
ノ名ヲ春秋ト云魯國ノ史官ノ本ヨリレ  
ルレオキタル書ナリ然ルヲ孔子是ヲ見  
テケツリタ、ストコロアリ書アラタムル  
所アリ書クワフル所アリ自餘ノ經ヲ  
ハ子游子夏助筆スルコトアレトモ春秋ニ  
イタリテハ孔子獨ミツカラ筆レテ弟  
子門人一字モ増損スルコトアタハス故ニ春  
秋ハ聖人ノ一筆ノ書ナリ



魯國ハ周公旦封ラレタル國ナリ周公周ノ都ニ井テ天子ヲ輔佐シ其子伯禽ヲツカハシ魯國ノ主トス伯禽十三代ノ孫ヲ隱公トス隱公即位ノ元年ハ周ノ天子平王ノ四十九年ニアタレリ隱公元年ヨリ哀公十四年マテ二百四十二年ノ間ノコトヲ春秋ニレルセリ隱公治世十一年桓公十八年莊公三十二年閔公二年僖公三十三年文公十八年宣公十八年成公十八年襄公三十一年昭公三十二年

定公十五年哀公十四年ヲ加ヘテ合テ千二代ノ間二百四十二年ナリ魯國代々ノ君オホキ中ニ隱公ヨリ書ハレムルコトハ杜預カ説ニハ隱公年老テ桓公ニユツルハ隱公ハ賢君ナリ平王德ヲ脩メ天命ヲタモキ隱公又周公ノアトヲノヘヒロメハ文王武王ノ道ヲ再興シ天下ヲヤスニシテ國家ヲ保ツヘキコトヲ思ヒテ孔子是ヲ春秋ノ始トスト云ヘリ胡氏傳ニハ杜預カ義ヲ用ス隱公ヲソレリテ惡ヲタヘサシタ



メニ是ヲ始トス隱公已ニ魯ノ君ナリコト  
ハルヘキヲ早クコトハリテ乱ヲオサムヘキ  
トコロニ位ヲ弟桓公ニユツラシトスト云トイ  
ハトモ眞實ハユツラス羽父ト云臣ニタハカ  
ラレテ隱君セサル先ニ殺サレ桓公ハタレ  
テ兄ノ位ヲ奪ヘリ隱公ノマトヘルヲソシ  
リ羽父カ悪ヲニクミテイマレメノ教ト世  
ンタメニ隱公ヨリカキハレムト云ヘリ  
春秋ノオレハハ勸善懲惡ヲム子トス善  
ヲハホメテ人ヲスハメ惡ヲユラシメテ人ヲ

イマレム皆萬代ノ教ナリ其時ニアタリ  
テ富貴ニシテ善キモノクヤウナレトモ其  
心底惡ケレハ是ヲ察シテレルシテソシ  
リ其時代ニテハ時ニアハス賤モノナレト  
モ其義アル所アレハ是ヲ知リテ書レ  
テホム故ニ春秋ニ書セル一字ノ褒義ハ王  
公ノ榮花ニモ一サレリ一字ノソシリハ  
市町ニテ打擲セラルト耻ヨリモオトシリ  
ト云ヘリ  
君モ徳ナケレハ君ヲソシリ臣モ道ナケレ



ハ臣ヲソレル父モ教ヲ失ナハハ父ヲソレリ  
子モ不孝ナレハ子ヲ謗ル兄弟夫婦明  
友ノ間モ又此ノコトニ皆人倫ノ教訓ナリ  
或ハアラハレサル惡ヲハ人ニラスカクセル  
盜賊ヲハ世ニ知ラス春秋ニハカクセル所ヲ  
アラハレ知ラサル所ヲ察テ筆記スル故  
ニ乱臣賊子是ヲ見テ大キニ畏ルナリ  
乱臣トハ君ニソムク臣ナリ賊子トハ不孝  
ノ子ナリ或ハアラハレ又善ハイヨク、ウツ  
モル、モノナリタレカ是ヲ賞セシヤ春

秋ニ其カスカナル所ヲオレヒロメテアケル  
トキハ善アルモノハ必アラハル、也是シ微  
顯シ聞シ幽ト云  
書スコトアリ書サルコトアリ是ヲ書法  
トス其凡例定ムル体アリ事オホケレ  
ハ本文ヲ考ヘシ此凡例ハ周公ノ礼法  
リ本ヨリセル所ヲ孔子アラタメテ  
書シカ元コトアリ是ヲ變例トス又書日  
法同シヤウナレ凡義ヲトルコト不同アリ  
是ヲノ類三十聖人ノ筆削ナリヨク讀モ



ノ是ヲ知ルヘシ  
元年正月ト書セルコトアリ一年ト云ハス  
シテ元年ト云ヒ一月ト云ハスシテ正月ト  
云フ是春秋ノ筆法ナリ天地ノ徳ヲ乾  
元坤元ト云ハ元ハ善ノ長ナリ則仁ナリ  
正ハタ、シキナリニツカラタ、シフシテ  
人ヲタ、シフスルヲ政ト云人君即位ノハ  
シメノ年ヲ一年ト云ハスシテ元年ト云ハ  
善ヲ本トシテ仁ヲホトコサシタメナリ年  
ノ始ノ月ヲ一月ト云ハスシテ正月ト云ハ

身ヲタ、シフシテ政ヲセシメシタメナリ日  
ノ始ヲ一日ト云ハスシテ元日ト云モ元年  
ノ元ノ字ノ義ナリ故ニ春秋ニ元年春  
王正月公即位トシルセルコトハ元年ハ年  
ノ始ナリ春ハ時ノ始ナリ王ハ天命ヲ受  
ル始ナリ正月ハ月ノ始ナリ公即位ハ一國  
ノ始ナリ是五ノハシメナレハ五始ト名ツク  
オノレヲタ、シフスルコトヲ專要トスル也  
時ヲ書シ月ヲ書シ日ヲ書スコトアリ或  
ハ時ハカリ書シテ月日書サルコトアリ或



ハ時ト月トヲ書シテ日ヲ書サルコトアリ  
或ハ月日ヲ書シテ時ヲ書サルコトアリ或  
月ハカリ書シテ時ト日トヲ書サルコトア  
リ或ハ朔ヲシルシ朔ヲ書サルコトアリ此ノ  
コトキ書法ニヨリテ喪<sup>ホウ</sup>賤<sup>ケン</sup>ヲタソルコトハ公  
羊<sup>ヤウ</sup>傳ノ説ナリ又早<sup>モチ</sup>スト書スハ五穀ノワ  
カハ不<sup>ス</sup>雨<sup>ラ</sup>トシルスハ又クフラ  
カレ<sup>レ</sup>五穀ノワカヒヲナサ、ル時ノモトナ  
リ<sup>ア</sup>零<sup>ア</sup>トシルスハ雨ヲイナリテシルンアル  
時ノコトナリ<sup>ル</sup>祈<sup>イ</sup>レトモ雨ヲラサレハ零<sup>ア</sup>ト

書サス早トシルス或ハ君トシテ民ノ早ニ  
アエ<sup>ル</sup>ヲカナシヌル心アレハ零<sup>ア</sup>ト書ストモ  
イヘリ此三ハ同コトナレトモ其書法不  
同ナルハ義ヲ取<sup>ト</sup>テ例<sup>イ</sup>ヲ立タルナリ此ス  
コレキナルコトヲ以テ春秋一部ノ中ニ  
種種ノオホヒナル事アリト知ヘシ  
春秋ノ終ニ獲<sup>ク</sup>麟<sup>リン</sup>ト云コトアリ哀公十  
四年ノ春大野ト云所へ狩<sup>カ</sup>レテアヤシキ  
獸<sup>ケ</sup>ヲエタリ魯ノ大夫叔孫<sup>シクソク</sup>カシタノ車<sup>ニ</sup>子<sup>シ</sup>  
鉏<sup>シ</sup>商<sup>ウ</sup>ト云モノ此獸ノ足ヲクシイテ取<sup>ト</sup>來<sup>ル</sup>

玉典

元石

ル



ル如何ナリ獸ナリト云名ヲ知ル人ナシ孔子  
是ヲ見テ麒麟ナリト云麟ハ奇<sup>キ</sup>瑞<sup>ス</sup>ノ仁  
獸ニテ聖人王者ノ時ニアラハレ出ルモノ  
也今出テ時ニアハス奇<sup>キ</sup>瑞<sup>ス</sup>ノシルシナクト  
ラヘ殺サル孔子是ヲ感<sup>カ</sup>シテ春秋ヲ作  
ラント思フ心オコリ獲麟ノ年ヨリ上二  
百四十二年以前ノ隱公元年ヨリ書始  
ム筆ヲ獲麟ニ起スト云是ナリサテ其  
書トニル所ハ歎<sup>ナ</sup>キ感<sup>カ</sup>シテ思フトコロハ  
獲麟ヨリ起ルニ則是ヲ終トス筆ヲ獲

麟ノ一句ニ絶ト云ハ是ナリ是春秋始終  
ノ義ナリ獲麟ヨリ三年ノ後四月孔  
子卒去セリ  
胡氏傳ノ説ニハ物ノ相感スルハ古今ノ理  
ナリ伏犧易ヲ作レハ龍馬出ツ虞舜<sup>イ</sup>  
樂ヲ奏スレハ鳳凰來リ百獸舞フ孔子  
春秋ヲ作レハ麒麟出ツ天ト人ト感<sup>カ</sup>應<sup>オウ</sup>  
ノ理シルシアラスト云コトナシ聖人ハ天地  
ト德ヲ同シフシ陰陽ト化<sup>カ</sup>ヲヒトシフス然  
ハ麟ノ出ルハ聖人ノタヌニ出タルナリ其



時代道ヲコナハレサルコトヲ感シ王者ノ出  
サレコトヲ歎テ獲麟ノ一句ヲ以テ後世  
ニシメシ春秋ノ終トス

左傳 公羊傳 穀梁傳

此三傳ハ皆春秋ノ註ナリ魯國ノ史官  
左丘明カ傳ヘタルヲ左傳ト号ス左丘明  
ハ孔子同時ニテ春秋ヲ傳授スト云ヘリ  
齊國ノ人公羊高カ傳ヘタルヲ公羊傳ト  
号ス魯國ノ人穀梁赤カ傳ヘタルヲ穀梁  
傳ト号ス公羊穀梁ハ三十子夏門流ノ

人ナリ是ヲ春秋三傳ト名ツク此外ニ  
宋ノ胡安國三傳ノ異同ヲカンカヘ孟子  
董中舒程子等ノ說ヲ引合セテ義理  
ヲ以テ春秋ヲ註ス是ヲ胡氏傳ト号ス  
皆世ニオコナハル

孝經

孔子ノ弟子曾子孝行フカキ者ナリ  
故ニ孝ノ道ヲ問フ孔子其問コトヲヨシ  
シテ孝ノ大ナルコトヲノ天子ノ孝諸侯  
ノ孝卿大夫ノ孝士庶人ノ孝ニ至ルマテ



ヲ説聞<sup>ナカ</sup>シム是ヲ書<sup>シ</sup>テ孝經ト名ツク漢ノ孔安國<sup>アノク</sup>其傳ヲ作りテ世ニヒロム又唐ノ玄宗人註セルアリ是ヲ御註孝經ト号ス

爾雅

此書ノ第一釋詁ハ周公ノ作ト云ツタフ古今ノ語ノ異同ヲ釋<sup>シ</sup>セリ其後子夏カ輦<sup>カ</sup>相<sup>シ</sup>ツイテ編輯ス人倫ノ名天文地理ノ号樂器<sup>キ</sup>器財<sup>イ</sup>ノ名草木鳥獸ノ号ニ至ル一テ書<sup>ス</sup>アツメテ古今ノ其名

ハ今ノ此ノ名ナリ古ノ其字今ノ此字ナリト註釋ス五經ヲ讀<sup>ク</sup>習<sup>フ</sup>モノニ字義ヲ知ラシムルハ爾雅ノ教ナリ後ノ世ニ小爾雅廣雅埤雅爾雅翼等ノ書ハ皆是ニモトツケリ詩ヲ学<sup>ブ</sup>フモノ多ハ鳥獸草本ノ名ヲ知ルトイヘルハ此義ナルヘシ

爾雅  
廣雅  
埤雅  
爾雅翼



右一帖應或人之求以投之且  
訓示兒童

羅山子

此壽十小八七  
多八島瀛海草木ノ名ヲ以テイハルハ  
書ハ昔長ニテナリシノ時ノ人ナリ  
世ニ小爾無遠殊也其南蘇真書ノ  
漢ノ史ノ云ハルハ其ノ人ナリ  
其ノ人ナリ其ノ人ナリ  
八今ノ世ノ人ナリ其ノ人ナリ



